

# 北朝鮮「ミサイル」発射



電子速報版

2009年4月5日(日)発行

発行所

山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12

電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2009  
Yamagata Shimbu

やまがたニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

モバイルやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



購読申し込み(9~17時)

0120-81-8040

詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

## 迎撃せず、東北上空通過

北朝鮮は五日午前十一時半ごろ、日本海側の咸鏡北道舞水端里の発射施設から長距離弾道ミサイルとみられる飛翔(ひしょう)体(たい)を発射した。日本政府はミサイルが東北地方上空を通過、一段目は秋田沖の日本海に、二段目は太平洋上に落下したと予測している。

防衛省は迎撃措置を取らなかったと発表した。北朝鮮は事前通告通り「人工衛星」打ち上げのためのロケット発射と発表する見通しだ。政府は麻生太郎首相が安全確認などを指示、情報収集を急ぐとともに警戒を強化している。

政府は発射に対し「重大な挑発行為だ」と非難。「人工衛星」でも「弾道ミサイル計画に関連するすべての活動停止」を求めた国連安全保障理事会

決議違反として、安保理協議に持ち込み、新決議採択を目指す。

日米両政府などは仮に人工衛星打ち上げ目的のロケットでも、米アラスカ州を射程に収めるとされる長距離弾道ミサイル「テポドン2号」と実質的に同じで安全保障上の脅威と分析。北朝鮮は核兵器保有も宣言しており、オバマ米政権と有利な交渉を進めるために米側をけん制する狙いもありそうだ。

北朝鮮は一月末ごろから、舞水端里にミサイルを積むコンテナのようなものを列車で運び込んだほか、多数のトラックや燃料輸送車などの活動を活発化させた。

三月十二日には国際海事機関(IMO)に四月四・八日に発射すると通告。三月二十五日には発射台に「テポドン2号」とみられるミサイルの設置が確認されるなど準備を進めていた。



米デジタル・グローブ社が3月29日に人工衛星から撮影した北朝鮮・舞水端里の発射施設(A P = 共同)